

あめ
雨のうた

2025/9/16

No.48

岩渕和信

2年生、国語。『あめは ひとりじゃ うたえない』から始まる、つるみまさお作『雨のうた』。

雨は、屋根や、土や、川や、花といっしょに歌います。

「川はこうかなあ」「流れてくんだよ」

「じゃ、みんなで流れてみよう。ついてきて。はい、川でーす」

「川でーす」

「できたね、川。次は花か」

「花はさっきやった」

「じゃ、近くのお友だちと、作ってみよう」

「花、咲くよー」

みんなで演じながら、全身で創っています。



「できたねえ。これに雨が当たって歌ってくんだね。どうしようか」「雨が降りにいけばいい」「雨が動いていって、花のところまでいく」

「雲は動くし」「そうか」「雲はゆっくりじゃないとだめだよ」「たしかに」

「先生、いいこと思いついた。途中にさ」「うん」「土とか川

とかあって」「うんうん」「それで花までいけばいいんじゃない?」「おー、いいねえ。じゃあ、こういうとかな?」

みんなのアイデアを確認しながら、まずやってみることにしました。



あめは ひとりじゃ うたえない、

きっと だれかと いっしょだよ。 (つるみ まさお)